

## 肺切除術クリニカルパス使用患者の満足感と看護師の関わり

西病棟 6 階 ○出野恭子 堀真理子 寺下千恵 清水真佐子 安達直子 池本和代 覚知奈緒 鈴見由紀

Key word: クリニカルパス, 肺切除術, 患者満足

### はじめに

当病棟では肺切除の手術目的に入院した患者の周手術期に、平成 13 年度から医師と看護師で共有する医療用パスと患者と看護師で共有するオーバービュー式の患者用パス（以下パスとする）を使用している。医療用パスは医師が作成し、患者の入院時に指示書に挟み込み、検査や点滴、処置等の情報を医師と看護師間で共有している。パスは医療用パスを参考に看護師が中心となって作成し、患者ケアに活用している。平成 14 年度の研究で「パスの内容に関する実態調査」を行い、平成 15 年度の研究では「パス導入における看護師の意識調査」が行われ、その結果からパスを改訂した。また、研究結果を参考に使用マニュアルを作成した。マニュアルには、受け持ち看護師が患者に説明をした上でパスを渡すことを基本とし、パスを渡す日時や保管方法、検査や処置等の確認項目が決められている。また、パスをクリアファイルに入れ、オーバーテーブルに置くことで、看護師や患者に意識されやすい状況にした。パスは電子化されていないため、パスを使用して毎日の担当看護師または受け持ち看護師が検査や治療・スケジュールの説明と確認を行っている。

マニュアル作成後、どの程度パスが定着したかを患者の視点から見たいと考え、昨年、肺切除術患者にパス使用状況についてインタビュー形式で調査した。パスを使用することには「あると分かりやすい」と肯定的であったが、「説明の回数や時期などが早い」や「治療費など紙面にないことで知りたいことがあったが聞けないままだった」等の意見が得られた。実際、パスを用いた日々の関わりは看護師によってさまざまであり、患者の反応も把握できていないと感じた。そこで、今回は、看護師がパスを使ってどのような関わりを行っているか、それによって患者はどの程度満足しているのかを知りたいと考え調査を実施した。

### I. 目的

パスに沿った看護師の関わりに対する患者の感想を把握し、患者の満足感と看護師が行う説明の回数と時期との関連を明らかにする。

### II. 用語の定義

満足感とは、患者がパスに対する看護師の関わりが適切であると答えた場合とした。

### III. 研究方法

1. 調査期間：2006 年 8 月～9 月

2. 対象：8 月～9 月に入院し、肺切除術を受けた患者 27 名。

### 3. 方法

#### 1) データ収集方法

(1) 率直な意見を求めるために独自で作成した、自記式アンケート用紙を患者の退院決定時に配布し、留め置き調査で実施した。回答はパスを渡された時期やパス内容など 17 項目に対して、2 段階選択方式とした。その他自由記載欄を設けた。

(2) 患者アンケートに沿って独自に作成した 17 項目の経過抽出シートで看護師が関わった回数と時期を把握した。毎日の担当看護師または受け持ち看護師が関わった項目に日時を記入した。

#### 2) 分析方法

(1) 患者アンケートから得られた回答で“ちょうど良い”を「適切」、「早い」「足りない」を「不適切」とし、単純集計した。

(2) 患者アンケートで 20%以上の患者が「不適切」と回答した項目を抽出した。それぞれの項目に対して、「適切」と回答した患者と「不適切」と回答した患者、看護師が説明を行った回数と時期において比較検討した。

(3) 患者アンケートから得られた自由記載欄の内容について考察した。

### 4. 倫理的配慮

事前に研究の趣旨と得られた情報は研究以外に使用しないこと、参加を拒否しても不利益にならないことを説明し書面にて同意を得た。

## IV. 結果

1. アンケートの回収率は 100%であり、記載のない項目は有効回答とした。

### 2. 対象の概要

男性 13 名、女性 14 名。年齢 22～80 歳。入院から退院までの平均在院日数は 20 日で、入院から手術までの術前日数は平均 6.5 日、手術から退院までの術後日数は平均 13.2 日であった。看護師が説明した回数は、術前は平均 2.8 回で、術後は 2.4 回であった。

### 3. 患者アンケート及び経過抽出シートの結果

1) 17 項目のうち、治療費についての説明以外の項目で、「適切」と回答した割合が、「不適切」と回答した割合に比べて高かった。(図 1)

2) 患者アンケートで 20%以上の患者が「不適切」と回答した項目は 6 項目で、治療費の説明、回復室の見学、手術前に行う手術後経過の説明、退院後の生活についての説明、痛みについての説明、準備する物品の説明であった。

3) 抽出した 6 項目に対して看護師が行った説明の時期と回数

(1) 治療費の説明について(表1)

6名が「適切」と回答し、11名が「不適切」と回答した。10人が無回答であった。パスに治療費についての記載はなく、看護師からは説明していない。「不適切」と回答した11名中1名からは質問があり、説明していた。時期は入院1日目であった。

(2) 準備する物品について(表2,3)

21名が「適切」と回答し、6名が「不適切」と回答した。「適切」と回答した中で、1回説明したのは12名、2回説明したのは6名であった。3名は説明した回数が不明であった。1回説明した時期は入院1日目10名、3日目1名、5日目1名であった。2回説明した時期は、1回目は入院1日目5名、3日目1名で、2回目は入院2日目1名、3日目1名、4日目1名、5日目1名、7日目以降2名であった。「不適切」と回答した中で、1回説明したのは4名、2回説明したのは2名であった。1回説明した時期は、入院1日目1名、2日目3名であった。2回説明した時期は、1回目は入院1日目2名で、2回目は入院2日目1名、7日目1名であった。

(3) 手術前に行う手術後経過について(表4,5)

18名が「適切」と回答し、8名が「不適切」と回答した。1名が無回答であった。「適切」と回答した中で、1回説明したのは12名、2回説明したのは5名、3回説明したのは1名であった。1回説明した時期は入院1日目11名、2日目1名であった。2回説明した時期は、1回目は入院1日目4名、4日目1名であった。2回目は入院2日目1名、3日目3名、4日目1名であった。3回説明した時期は、1回目は入院1日目、2回目は2日目、3回目は7日目であった。「不適切」と回答した中で、1回説明したのは5名、2回目は2名、3回目は1名であった。1回説明した時期は入院1日目が3名、2日目が1名、5日目が1名であった。2回説明した時期は、1回目は入院1日目2名、2回目は6日目1名、11日目1名であった。3回説明した時期は、1回目は入院1日目、2回目は3日目、3回目は6日目であった。

(4) 回復室の見学について(表6)

13名が「適切」と回答し、9名が「不適切」と回答した。5名が無回答であった。「適切」と回答した13名中1名は見学を行い、時期は入院3日目であった。「不適切」と回答した患者全員が見学を行っていない。

(5) 痛みについて(表7,8)

19名が「適切」と回答し、7名が「不適切」と回答した。1名が無回答であった。「適切」と回答した中で、術前に、1回説明したのは11名、2回説明したのは3名、5名は0回であった。1回説明した時期は入院1日目6名、3日目1名、4日目以降は4名であった。2回説明した時期は、1回目は入院1日目2名、4日目以降は1名であった。2回目は入院2日目1名、4日目以降は2名であった。「適切」と回答した中で、術後に、1回説明したのは9名、2回説明し

たのは5名、3回説明したのは1名、4回説明したのは1名、3名は0回であった。1回説明した時期は術後1日目4名、2日目3名、3日目2名であった。2回説明した時期は、1回目は術後1日目2名、2日目1名、4日以降2名であった。2回目は、術後2日目1名、3日目1名、4日目以降3名であった。3回説明した時期は、1回目は術後1日目、2回目は術後2日目、3回目は術後3日目であった。4回説明した時期は1回目は術後3日目、2~4回目は術後4日目以降であった。

「不適切」と回答した中で、術前に、1回説明したのは4名、2回説明したのは2名、1名は0回であった。1回説明した時期は入院1日目1名、2日目2名、3日目1名であった。2回説明した時期は、1回目は入院1日目1名、2日目1名で、2回目は入院4日目以降であった。術後に、1回説明したのは3名、2回説明したのは3名、1名は0回であった。1回説明した時期は術後1日目3名であった。2回説明した時期は、1回目は術後1日目2名、2日目1名で、2回目は4日以降3名であった。

(6) 退院後の生活について(表9,10)

17名が「適切」と回答し、8名が「不適切」と回答した。2名が無回答であった。「適切」と回答した中で、1回説明したのは9名、2回説明したのは1名、7名は0回であった。1回説明した時期は、退院1日前3名、2日前1名、4日前2名、5日前2名、7日前1名であった。2回説明した時期は、退院6日前と2日前であった。「不適切」と回答した中で、1回説明したのは1名、7名は0回であった。1回説明した時期は退院2日前であった。

4) 患者アンケートの自由記載欄の回答

「回復室は周囲の環境がわからず、不安と焦燥の一夜であったことが残念」「痛み止めの種類による効果について」「事前に費用について分かると助かる」「同室者に教えてもらって理解したこともあった」「情報のずれがあり混乱する場合があった」「みんな話を色々聞いてくれて心強かった」

## V. 考察

吉田は、「患者満足度は納得できるかどうかにより、本当に患者の望むことかどうか確認をしなければならぬ」<sup>1)</sup>と述べており、まず患者アンケートで患者がどの程度満足しているかを知る必要があった。今回行った患者アンケートでは「適切」と回答した割合が高いという結果であり、現在行われているパスに沿った看護師の関わりで患者は満足していると思われる。

今回、患者アンケートで20%以上が「不適切」と回答した6項目に注目し、看護師によるパスの説明の回数と時期が、患者の満足感とどのような関連があるのかを見出せれば、パスをより効果的に活用出来る手がかりになると考えた。

治療費の説明の項目は、「不適切」と回答した割合

が、「適切」と回答した割合より高く、また、「事前に費用について分かったと助かる」との意見もあり、費用に関する関心が高いと考える。最近では、治療費を記載したパスもあるため、患者が情報を求めた場合、情報を提供できるように整えることも必要であると考える。

準備する物品についての項目と、手術前に行う手術後の経過説明についての項目は、「適切」と回答した中で、入院1日目に説明を受けた患者の割合が多いという結果から、入院1日目に説明は患者の満足感につながっていると考えられる。しかし、「不適切」と回答した中でも、入院1日目に説明を受けた患者の割合が多いという結果であった。このことから、必ずしも、入院1日目に説明をすることが望ましいとは言えない。年齢、患者の理解力など考慮し、個別性を重視した上での説明が必要である。

回復室の見学の項目は、パスには回復室の見学の項目はなく見学の実施は看護師個人の判断で行っている。術後の状態に関しては、手術前に行う手術後経過についての説明の際に、酸素マスクや点滴など術後の身体状況を図で示したパスを用いている。しかし、9名が手術前に回復室の見学をしておきたかったと回答したことや、「回復室は周囲の環境がわからず、不安と焦燥の一夜であったことが残念」との意見があり、パスでの術後経過の説明だけでは、環境の変化をイメージしにくかったのではないかと考える。術後回復室の見学という項目をパスに記載することで見学が確実に実施され術後のイメージが具体化し、満足感も向上すると考える。

痛みについての項目は、「適切」と回答した患者と「不適切」と回答した患者で、説明の時期や回数に差は見出せなかった。このことは説明の回数や時期が適切であるとも不適切であるとも言えない。痛みには個人差があり、主観的なものであるためと考える。パスには硬膜外麻酔と鎮痛剤についてのみ記載されているが、説明は個々の看護師に任されている。これらのことより、時期や回数にこだわらず、患者の訴えに常に耳を傾けていく必要がある。

退院後の生活についての項目は、「適切」と回答した患者と「不適切」と回答した患者で、説明の時期や回数に差は見出せなかった。「適切」と答えた患者の中で、退院後の生活の説明がされていないにも関わらず、「適切」と回答していることは、生活をする上で看護師に確認する必要がないと判断したと推測する。

今回の調査で看護師の説明の回数と時期の傾向が分かった。パスに沿った説明は手術後より手術前が多く、これは術前オリエンテーションの説明のツールとして使用しており、治療経過の確認としては使用していない傾向がある。術前術後を通して、パスに記載された経過をみて実施した項目を確認する工夫をしていく必要がある。

## VI. 結論

1. 患者アンケートの結果、現在行われているパスに沿った看護師の関わりで患者の満足感は保たれている。
2. 患者の満足感と看護師が行う説明の回数と時期に差は見出されなかった。

## VII. 研究の限界

今回の調査ではアンケートの項目に対する患者のとらえ方が曖昧であり、調査結果の確実性にかけていた。看護師が行うデータ収集が徹底されていたか定かではなく、信頼性に欠けていたことの再考が必要である。

## 引用・参考文献

### 引用文献

- 1) 吉田公代他：患者アンケートや評価機関を活用し開かれた医療を実行する，ナース専科，15，33，2003

### 参考文献

- 1) 金川智子他：クリニカルパス導入後の看護師の意識～クリニカルパス活用の阻害因子，金沢大学医学部付属病院看護部看護研究発表論文集録，2002
- 2) 大西美千代他：肺切除術を受ける患者のクリニカルパスに関する実態調査，金沢大学医学部付属病院看護部看護研究発表論文集録，2003
- 3) 中川敬子他：患者様用クリニカルパス活用方法の検討～アンケート調査による評価・修正を通して～，全自病協雑誌，44(5)，48-52，2004

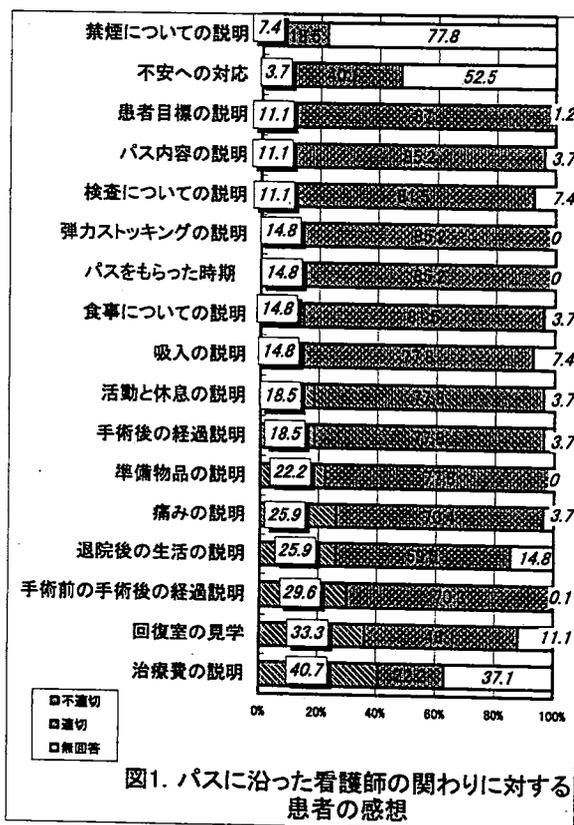


図1. パスに沿った看護師の関わりに対する患者の感想

表1. 治療費の説明の項目

|          | 「適切」と回答した6名 | 「不適切」と回答した11名 |
|----------|-------------|---------------|
| 説明行った    | 1           | 0             |
| 説明行っていない | 5           | 11            |

表2. 準備物品の説明の項目で「適切」と回答した患者18名

|           | 1日目 | 2日目 | 3日目 |     | 4日目 | 5日目 |     | 7日目以降 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
|           | 1回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目 | 2回目   |
| 1回説明した12名 | 10  |     |     | 1   |     |     | 1   |       |
| 2回説明した6名  | 5   | 1   |     | 1   | 1   |     | 1   | 2     |
| 説明回数不明3名  |     |     |     |     |     |     |     |       |

表3. 準備物品の説明の項目で「不適切」と回答した患者6名

|          | 1日目 | 2日目 | 7日目以降 |     |
|----------|-----|-----|-------|-----|
|          | 1回目 | 1回目 | 2回目   | 2回目 |
| 1回説明した4名 | 1   | 1   |       |     |
| 2回説明した2名 | 2   |     | 1     | 1   |

表4. 術前の経過説明の項目で「適切」と回答した患者19名

|           | 1日目 | 2日目 |     | 3日目 | 4日目 |     | 7日目 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|           | 1回目 | 1回目 | 2回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
| 1回説明した12名 | 11  |     | 1   |     |     |     |     |
| 2回説明した5名  | 4   |     | 1   |     | 3   | 1   | 1   |
| 3回説明した1名  | 1   |     | 1   |     |     |     | 1   |

表5. 術前の経過説明の項目で「不適切」と回答した患者8名

|          | 1日  | 2日目 |     | 3日目 |     |     | 5日目 | 6日目 |     | 11日目 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
|          | 1回目 | 1回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 2回目  |
| 1回説明した5名 | 3   |     | 1   |     |     |     |     | 1   |     |      |
| 2回説明した2名 | 2   |     |     |     |     |     |     |     | 1   | 1    |
| 3回説明した1名 | 1   |     |     |     |     |     | 1   |     |     | 1    |

表6. 術後回復室の説明

|         | 「適切」と回答した13名 | 「不適切」と回答した9名 |
|---------|--------------|--------------|
| 見学した    | 1            | 0            |
| 見学していない | 12           | 9            |

表7. 痛みの項目で「適切」と回答した患者19名

|    | 入院1日目     | 2日目 |     | 3日目 |     |     | 4日目以降 |     |     |     |
|----|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|
|    | 1回目       | 1回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 1回目   | 2回目 | 3回目 | 4回目 |
| 術前 | 0回説明5名    |     |     |     |     |     |       |     |     |     |
|    | 1回説明した11名 | 6   |     |     | 1   |     |       | 4   |     |     |
|    | 2回説明した3名  | 2   |     | 1   |     |     |       | 1   | 2   |     |
|    | 術後1日目     | 2日目 |     | 3日目 |     |     | 4日目以降 |     |     |     |
|    | 1回目       | 1回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 1回目   | 2回目 | 3回目 | 4回目 |
| 術後 | 0回説明3名    |     |     |     |     |     |       |     |     |     |
|    | 1回説明した9名  | 4   | 3   |     | 2   |     |       |     |     |     |
|    | 2回説明した5名  | 2   | 1   |     |     | 1   |       | 2   | 3   |     |
|    | 3回説明した1名  | 1   |     | 1   |     |     | 1     |     |     |     |
|    | 4回説明した1名  |     |     |     | 1   |     |       |     | 1   | 1   |

表8. 痛みの項目で「不適切」と回答した患者7名

|    | 入院1日目    | 2日目 |     | 3日目 | 4日目以降 |   |
|----|----------|-----|-----|-----|-------|---|
|    | 1回目      | 1回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目   |   |
| 術前 | 0回説明1名   |     |     |     |       |   |
|    | 1回説明した4名 | 1   |     | 2   |       | 1 |
|    | 2回説明した2名 | 1   |     | 1   |       |   |
|    | 術後1日目    | 2日目 |     | 3日目 | 4日目以降 |   |
|    | 1回目      | 1回目 | 2回目 | 1回目 | 2回目   |   |
| 術後 | 0回説明1名   |     |     |     |       |   |
|    | 1回説明した3名 | 3   |     |     |       |   |
|    | 2回説明した3名 | 2   |     | 1   |       | 3 |

表9. 退院後の生活の項目で「適切」と回答した患者17名

|          | 退院1日前 | 2日前 | 4日前 | 5日前 | 6日前 | 7日前 |
|----------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0回説明7名   |       |     |     |     |     |     |
| 1回説明した9名 | 3     |     | 1   | 2   | 2   |     |
| 2回説明した1名 |       |     | 1   |     |     | 1   |

表10. 退院後の生活の項目で「不適切」と回答した患者8名

|        | 退院2日前 |
|--------|-------|
| 0回説明7名 |       |
| 1回説明1名 | 1     |